



# 恋する悪魔

# Et, alors?

エ

アロール

Vol.3

久保洋子 『恋する悪魔』 2024 世界初演

パガニーニ、タルティーニ、モーツァルト、リスト、  
ゴッベル、サン=サーンス、ドゥヴィエンヌ...

演奏：YKカンパニー

ゲスト：ピエール・モンティ

2024.12.17 ●火

開場 18:30 開演 19:00

兵庫県立芸術文化センター

神戸女学院小ホール

入場料 3000円

チケット取り扱い 芸術文化センターチケットオフィス  
0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)  
<https://www.gcenter-hyogo.jp>  
YKカンパニー事務局 090-2385-0260



”Et, alors?”とは、「それで?」と言う意味です。昔の現代音楽も今や古典! 今回のコンセプトは悪魔なのですが、なぜ悪魔?ですよね。まずは悪魔の衣装なんです。そこからどんどんイメージが広がって行き、興味は神秘主義や啓蒙思想など、果てしなく広がって行き...! この小説が書かれた直後に、フランス革命が起こりなどなど、私の中では次々キーワードが登場します。創作をするための大事な時間で、イメージがどんどん膨らんで行きます。

コンサートはまず『サタネラ』をパドドゥで。音楽はヴァイオリンの名家パガニーニの書いた『ヴェニスへの謝肉祭』。次にヴァイオリンとピアノでタルティーニの『悪魔のトリル』。どうしてヴァイオリン?それは悪魔が大好きな楽器だからです。

コンサートの最後は新作の『恋する悪魔』。フランスの作家のジャック・カゾットが1772年、書いた同名の小説を元に作曲しました。そして、これこそ、最初のバレエ作品の『サタネラ』の元になった小説なんです。

『恋する悪魔』は、スペインの騎士、アルヴァーレが、好奇心から降霊術したところ、「ケ・ヴォイ?」（何ぞ御用?）と言って現れた、悪魔のペエルゼビュート。最初は醜怪な駱駝、次に可愛いスパニエル犬、そして美貌のお小姓、ピヨンドットの姿で。彼はやがて美女、ピヨンドッタとなり、アルヴァーレを誘惑します。悪魔と人間の恋の物語です。

彼のオカルトのような神秘的なこの小説は、啓蒙思想の時代の象徴。そういえば、モーツァルトが『魔笛』を作曲したのも、フリーメイソンという、いわば「神秘的」な世界への憧れが背後にあったからです。摩訶不思議な世界をお楽しみ下さい。



## 久保洋子

Yoko KUBO

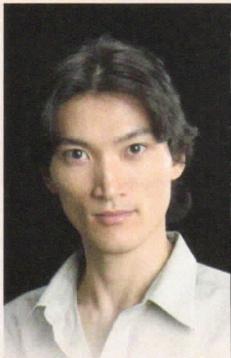
大阪音楽大学、同大学院を経てフランス政府給費留学生としてパリに留学。IRCAM給費研修員。パリ第1大学大学院博士課程修了。芸術と芸術学博士。フランス政府主催第1回日仏現代音楽作曲コンクール第1位。作品は、世界各地の国際音楽フェスティバル、NHK、フランス国営放送などで演奏、放送、又、フランスのコンプル出版社、ピヨドー出版社などで出版されている。2005年、パリ・ソルボンヌ大学博士課程客員教授に就任。パリ第6大学、パリ国立高等音楽院、国際音楽アカデミーなどでもレクチャーを行なう。オルレアン国際ピアノコンクールの審査員として招聘される。作曲を近藤圭、アナリーゼをO.メシアン、I.クセナキス、ピアノをY.ロリオ、C.ペトレスクの各氏に師事。現在、大阪音楽大学教授、同大学院作曲研究室主任、同大学評議員。



## Pierre MONTY

ピエール・モンティ

ヴェルサイユ国立音楽院をフルートで一等賞を得て卒業。R.ブルダンに師事。エコール・ノルマル音楽院で演奏者資格、教授及び指導責任教授資格取得。フルートをM.モイズ、F.カラジエ、J-P.ランバル、ピッコロをM.プルヴォに師事。シャルル・ウルモン財団賞受賞。UFAM国際コンクールピッコロ部門創始者。その後、室内楽部門監督。25年間パリ吹奏楽団に在籍。コンセル・ラムルー管弦楽団ソリストを務めた。吹奏楽やフルート・オーケストラの指導者としても活躍。現在、エコール・ノルマル音楽院教授。パリ・オペラ座管弦楽団の演奏会にも度々出演している。



Dance  
小濱孝夫



Dance  
小濱美保



Flute  
原田利佳



Flute  
柘植章子



Clarinet  
梅本佐知子



舞台監督 大沢安彦

アシスタント 山田大貴



Oboe  
安村誠人



Saxophone  
佐藤朱梨



Violin  
井上晶子



Piano  
佐野令奈



Piano  
奥野朱音